

独立行政法人国立病院機構  
沖縄病院 広報誌

発行日  
平成26年10月20日  
第32号  
発行所  
沖縄県宜野湾市我如古3丁目20-14  
編集発行 広報委員会



基本理念

患者さまの立場を尊重し高度で良質の医療を提供します



轟の滝(とどろきのたき)：当院から北東に58.4km。久志岳と辺野古岳を中心とする広大な樹海を源とする約4kmに及ぶ川が数久田部落の近くで滝になって落ちている。滝の高さ約28m、滝壺の幅約6m、深さ約1.5m。近年、上流域での取水や山地開発により水量が大きく減った。かつての風光明媚な轟の滝をたたえ、多くの和歌や琉歌が詠まれた。沖縄県指定文化財。(県指定文化財：1965年)

運営方針

- ① 政策医療を中心に、質の高い適切な医療サービスの提供
- ② 患者さまの視点に立った、温かく思いやりのある接遇
- ③ 健全な経営基盤の確立
- ④ 安心して療養に専念できる快適な環境
- ⑤ 臨床研究の活性化と臨床教育・研修機能の充実



表紙の植物：サンタンカ チャームピンク／学名：Ixora coccinea／アカネ科／東南アジア。インド原産の常緑低木。葉は光沢の強い濃緑で、花序は径5～15cm、花色は鮮やかなピンクの小花が集まり半球状に咲く姿が、エキゾチックな印象。沖縄では赤いサンタンカが路地でよく見られるが、ピンクの品種はわりと少ない。

目次

- 『波及効果』～意識改革を求めて～  
院長 川畑 勉 ..... 2
- ニューヨーク・シンフォニック・アンサンブル  
ハートフル・コンサート！ ..... 3
- 国民体育大会  
第34回九州ブロック大会(ウエイト  
リフティング競技)に参加して ..... 4
- 第35回 西病棟 夏祭り ..... 5
- 新西病棟起工式を行いました ..... 6
- 職場紹介 - 中4病棟  
新戦力紹介・編集後記 ..... 7
- 外来診療科担当医表 ..... 8

ロゴマークの意味



南国沖縄のイメージを表現する為に、原色(はっきりとした色)を基調とし、ベースは沖縄 okinawa の“O(オー)”を表しています。肉太い赤で太陽を表現。中は波をブルーで表し、全体として健康を象徴する人間の笑顔をかたち取っています。



## 『波及効果』～意識改革を求めて～

国立病院機構沖縄病院 院長 川畑 勉

ここでいう波及効果は安定した経営基盤の確立に向けての経営戦略上の政策結果のみを期待している訳ではありません。4月以来ほぼ毎月、「院長室だより」で**四字熟語**の標語を発信しています。

各部署でそれぞれに合った目標設定と短期間ではありますがその成果から見えてくるものを職員・スタッフが共有し継続して続けることが大切です。

これまで『**一致団結**』・『**他山之石**』・『**温故知新**』・『**一挙兩得**』・『**凡事徹底**』を標語として掲げてきました。もちろん根底にあるのは沖縄病院の基本理念である『患者様の立場を尊重し高度で良質の医療を提供します』ですが、すべてに共通しているのは患者さんの満足度向上と働きがい・生きがいのある職場づくりです。

目標設定・到達度はそれぞれの部署によって異なります。大切なのはそれ(設定した目標)を達成する努力とそれを継続することです。達成できたこと、できなかったことを水平展開してすべての職員が共有化したいものです。部署によってはすぐに成果が出るというまさに『**効果靚面**』のところもあればなかなか評価さえ困難なところもありました。それでも問題点のチェックは可能です。それを次につなげれば良いのです。

患者さんの満足度向上と職員の働き甲斐のある職場づくりは時としてシーソーのようになりかねないリスクもはらんでいますが、皆で『**一致団結**』して知恵を出し合えば解決できるものと思います。ここで必要とされるのがしっかりとコミュニケーションをとることです。申し送り・指示受けが他(複数)部門に及ぶとコミュニケーションエラーは起こりやすく、徹底した確認が求められます。簡単なミスでもそれを是正することを怠れば大きな事故につながる可能性があります。

職員一人一人が『我々が沖縄病院を支えているんだ』ということを自覚して、できることはすぐ行動に移し、それを継続してもらえれば**(意識改革)**、だんだんと結果は出てくるもの**(波及効果)**と思います。

平成 26 年 9 月、 中秋の名月の日に



# ニューヨーク・シンフォニック・アンサンブル ハートフル・コンサート!



7月6日(日)14時20分より、沖縄セルラーさんのご厚意により2年ぶりに3回目のニューヨーク・シンフォニック・アンサンブル・ハートフル・コンサートを開催しました。

話をいただいた時は、アンサンブルとは何ぞやと思い調べてみると下部の内容でした。

「合奏、重奏、合唱、重唱の意味、あるいはそれらの団体の意味にも用いられる。一般的に、オーケストラ(管弦楽団)は規定の楽器編成を満たした大人数の演奏団体(50人から100人前後)を意味するため、これに含まれない室内楽の演奏団体をアンサンブルと呼ぶことが多い。」(ウィキペディアより)

楽団のメンバーは、12時くらいに到着し、ほとんどが外国人で(日本人も数名いましたが)、それだけで小心者の自分はあたふたしてしまいました。

本番は40分ですが、リハーサルは約2時間くらいをかけて準備されます。何度も演奏した曲でしょうが、本番より長い時間を使つての練習、これがプロかと実感させられました。

交響的物語“ピーターと狼”では、少年や小鳥、猫、狼等を楽器や曲でどのように表現しているのを解説付きの演奏があり、初めて聞く曲でも場面を想像しながら楽しむことができました。

また、“シンコペティッドクロック”、行進曲“威風堂々”と曲名だけでは全くイメージできませんで

したが、曲を聴いてみると耳にしたことのある曲。やっぱり知っている曲が一番ですね。

日曜日なのでどのくらい来てくれるか心配していましたが、職員ボランティアの協力もあり、ベッド・車椅子の患者様にも見に来て頂き、総数120名と盛況でした。

特に、車椅子の患者様の肩に手を回している家族(下画像)が印象深く、ハートフル・コンサートにふさわしい場面だと思いシャッターを押しました。

帰り際に、コンサートの担当の方に、2年後にもよろしくお願ひしますとお願ひしておきましたので、次回もお楽しみに。

庶務班長 海良田





# 国民体育大会 第34回九州ブロック大会 (ウエイトリフティング競技)に参加して

院長 川 畑 勉

ウエイトリフティングは地味な競技ですが、1996年の第1回近代オリンピックから2016年のリオデジャネイロオリンピックまで連続して正式種目となっている数少ない競技の一つです。スナッチとクリーン&ジャークの2種目があり、その合計重量で順位を競います。持ち挙げた重量が同じであれば体重が軽い選手が上位となります。そのウエイトリフティング競技の長崎国体・九州ブロック大会が8月16-17日の両日、熊本県八代市で開催されました。

今回、大会の審判(ジュリー)および沖縄県ウエイトリフティング協会会長として参加したので報告します。

今日、国民体育大会に参加する多くの競技でブロック制を取り入れています。ブロック制とは各地区(ブロック)の代表として国体に参加できる人数もしくはチーム数に枠を設けた制度です。そのためすべての県に出場権が与えられるわけではなく、その地区(例えば九州ブロック)の代表として国体に出場することになります。ウエイトリフティングの場合には九州8県のうち上位5位までが成年と少年3人合わせて最大7人が出場可能で、6位が6人、7・8位は5人の出場枠しか与えられません。いわば九州選手権と国体出場をかけた九州地区予選会です。今回の九州ブロック大会には来月、仁川で行われるア

ジア大会の日本代表選手も参加していました。当院から沖縄県代表として中3病棟看護助手の比嘉貴大さん(94Kg級)、西1病棟看護助手の玉城安剛さん(105Kg超級)の2名が参加し、比嘉さんが優勝、玉城さんがロンドンオリンピック日本代表選手に負けたとは言え、堂々の準優勝に輝きました。二人の活躍で沖縄県は団体12連覇を達成しました。二人とも昨年の学生選手権(インカレ)のチャンピオンで実力はピカーです。

今後さらに精進し、次のリオデジャネイロ・東京オリンピックを目指して欲しいものです。



トロフィー(写真上)と表彰式(写真左)



中3病棟 業務技術員  
比 嘉 貴 大

私は今年の3月に大学を卒業し、それから沖縄病院で働かせてもらっています。今回が、初めての仕事ということで不安もありましたが、周りの先輩方のおかげで毎日楽しく仕事をさせてもらっています。また、それは仕事だけではなく、8月に熊本県で行われた九州ブロックウエイトリフティング大会にも仕事の日程を調整してもらい、出場させていただいたおかげで優勝することができました。

この優勝は、周りの支えがあって出来た事だと思っています。今後も現状の結果で満足せず、精進し、病院での仕事とウエイトリフティングを両立させ、患者様にも少しでも元気の源になってもらえるような人になりたいと思います。今回はありがとうございました。



西1病棟  
玉 城 安 剛

平成26年8月16・17日に熊本県八代市で開催された、第34回国民体育大会九州ブロック大会ウエイトリフティング競技に沖縄県代表として参加し、個人準優勝・団体優勝(12連覇)しました。このような結果が残せたのも、川畑院長をはじめとした沖縄病院皆様の応援、支えがあったからです。本当にありがとうございました。今大会においても、事務部長さんが会場に駆け付けてくれました。ありがとうございました。

私自身、今回の結果には全く満足できませんでしたので、これからも練習に励み、更に上位を目指したいと思います。それとともに、職員として日頃の職務を全うし、皆様の方になれるように日々精進していきたいと思っています。

至らないところばかりで迷惑をおかけしますが、これからはよろしくお願い致します。



大会出場選手のコメント

去る7月25日、「西病棟夏祭り」が開催されました。今年で35回の西病棟自治会主体に実施している一大行事です。特に今年は2年ぶりの実施であること、また病棟建て替えに伴い、これまで行ってきた場所のできる最後となるため、例年以上に夏祭りにかける思いは強いものがありました。

しかし、実施に至るまでに幾つか課題がありました。長年、自治会をサポートしていた療育指導室長が昨年退職を迎えたため祭り全般の流れを熟知したリーダー不在であったこと、祭り運営を中心に進めていた自治会役員を始めとする入所者の身体症状により、様々な面で少しずつ制限が生じてきていること、1年のブランクがあり、準備の流れや物品準備等の日程調整に苦慮する所もありました。「テントはいつ借りに行こうか。」(毎回、多くのテントを琉球病院から借用しています。)  
「やぐら、テント設営はいつ行えばよいか。」  
「ボランティアは必要な人数の方が集まってくれるだろうか。」  
「台風は大丈夫か。」などなど。様々な課題に対し、自治会メンバーと共に話し合い一つ一つクリアして準備を進め、対応策を検討し当日を迎えました。



日中は真夏日で突き刺さるような日差しでしたが、会が始まる頃には陽も徐々に陰っていく中、夏祭り実行委員長の開会の挨拶でスタートしました。今年のアトラクションは、あゆみ保育園児や病院太鼓クラブによる「エイサー演舞」、地域の創作太鼓集団琉風による「創作太鼓演舞」、バンド演奏、そして今年も締めは園田青年会によるエイサーでした。可愛いらしい園児たちの一生懸命な踊りやバンドの軽快な演奏と歌声、祭りを盛り上げる太鼓の音や勇壮な踊りに会場は盛り上がりました。

夜店では恒例の自治会の店「一銭まち屋」や美術クラブの「飲み物屋」始め、在宅者の店「やきとり屋」、



病棟職員の店「アメリカンドック」「いなりとチキン」や特別支援学校 PTA、教職員による「かき氷」、ボランティア大学生による「水餃子、フライドポテト」などなど。おいしそうな匂いと活気あふれる呼び声など祭りの盛り上がりには花を添えてくれました。また例年ご協力いただいている美ら海水族館からも移動水槽車が今年も来てくれました。

入所者の普段の療育や生活場面で見せない表情や笑顔を見る事ができましたし、普段はなかなか病棟に来ることができないご家族も多く来られており、楽しいひと時を過ごしていただけたように思います。

西病棟の夏祭りは地域で催されるような派手さはないかもしれませんが、みんなで夏の楽しいひと時を過ごす温かさを感じました。祭りのたびにかけつけてくれる多くのボランティアの方々、多忙な通常業務を行いながら多くの職員の方々に祭りの準備を手伝っていただきました。準備から当日、片づけまで多くの方々のおかげで行事が成り立つことを忘れてはいけません。

冒頭にも触れましたが、西病棟の入所者が中心となって運営することが厳しくなっております。今後も夏祭りは継続してほしいとの入所者の希望の一方で自分たちだけでは…との思いが強くなってきています。

来年は新病棟完成予定です。新たな場所で新たな祭りを企画するよい時期に来ているような気がします。病院を地域にアピールする場として企画、運営を病院全体で取り組む病院主催、「沖縄病院夏祭り」として宜野湾の夏の風物詩になるようなものを全体で築くことができれば面白いと思います。皆さんいかがでしょうか。



# 新西病棟起工式を行いました

企画課長 池田 克己



平成26年7月22日、当院において8月から新西病棟着工を前に起工式が行われました。本来なら、この時期新病棟はもう既に建築が終わり使用されているはずでした。ところが、折からの建築関係人手不足等による入札不調が続き落札するまでに4回要した事で建て替えが非常に遅れました。西病棟は現在、筋ジストロフィー病棟として運営していますが、近年老朽化が進み10年以上前から患者さんはもとよりその家族、職員が病棟建て替えを心待ちにしております。それゆえ、

工事を担当する者として一刻も早い着工を願っていたので、今回起工式を迎えることができ喜びも一塩でした。新しい病棟は、このまま順調に進みますと平成27年9月末竣工、10月使用開始となります。また、従来の80床よりも20床増え100床となることもあり広く神経難病を取り扱う病棟として位置づけられます。アメニティーが充実し、より患者さんの目線にたった診療が展開できると思うと完成が楽しみです。



新病棟予想図

## 職場紹介

### 中4 病棟

## 呼吸器外科 消化器科の混合病棟

中4病棟は呼吸器外科・消化器科の混合病棟です。

治療は手術治療が主ですが、病気の種類や進行度に応じて、化学療法・放射線治療を組み合わせた集学的治療も行っています。手術などの急性期から、治療のため入退院を繰り返す慢性期の患者さんも多く、年齢層は、青年期から老年期と幅広い方が入院されています。

手術後の観察や疼痛緩和は欠かせません。「患者さんの気持ちに寄り添う事のできる看護」「やりがいのある看護」を目指し、スタッフが一丸となって頑張っています。医師からの病状説明にも積極的に参加し、患者さんが充分納得したうえで、意

思決定や今後の治療方針について選択できるよう支援を展開しています。スタッフ皆で学習を重ね、看護師一人ひとりの知識・技術を高める努力をしています。

私たちは、患者さんの笑顔からたくさんのパワーをいただいています。私たちも患者さんの癒しになれるよう笑顔を心掛けています。

スタッフのモチベーションの明るさ、チームワークの素晴らしさは病棟の宝です。

「看護の知の共有」と「チームの和」をもって、皆で成長していきたいと思っています。これからも心からのおもてなしの姿勢で接していきます。今後ともよろしく願いいたします。

中4病棟師長 大兼久みより

## 新戦力紹介



- ①前任施設・出身 ②専門分野(医師)
- ③趣味・特技 ④ひとこと



神経内科医師  
宮城 哲哉

- ①国立循環器病センター  
聖隷浜松病院
- ②神経内科

④よろしく申し上げます。



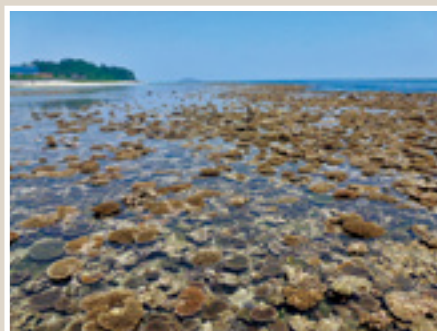
呼吸器外科医師  
古堅 智則

- ①琉球大学医学部附属病院・沖縄県
- ②呼吸器外科
- ③テニス

④早く仕事に慣れて、戦力となれるよう頑張ります。よろしく申し上げます。

## 編集後記

先日、宜野湾市立博物館で宜野湾市の地層についてのフィールドワークに参加しました。普天間空港はおおむね真っ平らですが、もともと海底で珊瑚礁だったそうです。普天間空港から大山に段差があるように低くなっていますが、珊瑚礁のリーフだったとのこと沖縄島の成り立ちを学び楽しい講義でした。画像は宮古ですが、珊瑚礁が普天間空港で右上の海との境が大山というイメージでしょうか。 庶務班長 海良田 猛



# 外来診療科担当医表

## 診療受付時間

内 科:8時30分～12時まで  
 外 科:8時30分～15時まで  
 胸部精査:8時30分～16時30分まで(12時以降は外科)

平成26年10月1日現在

		月	火	水	木	金
内 科	呼吸器内科 (紹介状あり) (8:30～12:00)	仲 本 敦	知 花 賢 治	《外科担当》	大 湾 勤 子	【交代制】 ① 仲 本 敦 ② 稲 嶺 盛 史 ③ 知 花 賢 治
	呼吸器内科 一般内科 禁煙外来 (紹介状なし) (8:30～12:00)	久 場 睦 夫 知 花 賢 治	大 湾 勤 子 仲 本 敦	久 場 睦 夫 アスベスト外来 久 場 睦 夫	知 花 賢 治	久 場 睦 夫 仲 本 敦
	消化器内科 (8:30～12:00)		樋 口 大 介 (8:30～11:00)	樋 口 大 介	樋 口 大 介	
緩和医療外来		久 志 一 朗	福 田 暁 子	福 田 暁 子	久 志 一 朗	
神 経 内 科	新 患 (予約制) (8:30～12:00)	諏訪園 秀 吾 宮 城 哲 哉	吉 田 剛 城 戸 美和子	【休診】	中 地 亮 宮 城 哲 哉	藤 崎 なつみ
	再 診 (予約制)	藤 崎 なつみ	中 地 亮 宮 城 哲 哉	【休診】	城 戸 美和子	諏訪園 秀 吾 吉 田 剛 城 戸 美和子
		大 城 康 二	大 城 康 二	大 城 康 二	大 城 康 二	大 城 康 二
放射線科		※CT・MRI・RI検査・放射線治療(リニアック)は随時受付				
外 科	外 科 呼吸器外科 血痰外来 肺ドック (8:30～15:00)	河 崎 英 範 久 志 一 朗 (消化器)	石川 清司(午前) 伊地 隆晴(午後)	石 川 清 司 饒平名 知 史	川 畑 勉 久 志 一 朗 (消化器)	平 良 尚 広
	那覇市・浦添市・ 宜野湾市 がん検診 【石川清司】	9:00～15:00	9:00～15:00	9:00～15:00	9:00～15:00	9:00～15:00
整形外科				豊 原 一 作 【再診のみ】 (13:00～16:00)		
専 門 外 来	【乳腺・甲状腺外来】 堤 綾 乃 (予約制) (14:00～17:00)	【乳腺外来】 野 村 謙 (予約制) (13:00～17:00)	【循環器専門外来】 西 澤 健 吾 (9:00～12:00)	【糖尿病外来】 池 間 朋 己 (9:00～12:00)		
			【ピロリ菌外来】 樋 口 大 介 (13:00～15:00)	【ピロリ菌外来】 樋 口 大 介 (13:00～15:00)		
			【総合相談】 石 川 清 司 (13:00～16:00)			

※ご不明な点・予約変更等ありましたら下記へお問い合わせ下さい。お問い合わせ時間は、9:00～17:00までとなっております。  
 ※セカンドオピニオンは病院間の調整で予約を受け付けております。 ※『乳がん検診』につきましては月曜・火曜の午後のみ受付となります。

独立行政法人国立病院機構 沖縄病院 〒901-2214 沖縄県宜野湾市我如古3丁目20番14号  
 TEL 098-898-2121(代) FAX 098-897-9838